

## 栄養クリニックの開設6年目を振り返って

京都女子大学栄養クリニックは、平成20年7月1日に開所しましたので、間もなく6年を迎えますが、最近ハード・ソフトの両面で、大きな発展を遂げることができました。まずハード面では、平成24年4月より、R研究所棟に移転しましたが、1フロアに集約され随分広くなり、調理関連設備も大幅に充実し、栄養クリニックにとって活動しやすい環境が整いました。これだけの立派な施設を作って頂いたら、それに見合うだけの成果を挙げなければいけません。ソフト面での大きな変化として、平成25年4月より副クリニック長の席を設けて頂くことができ、木戸詔子名誉教授にご就任頂きました。改めてこの場をお借りしまして、一方ならぬご高配を賜りました、芝原理事長・楠木事務局長はじめ、関係の方々に厚く御礼を申し上げます。

当栄養クリニックは、教育・研究・地域貢献という、3つの大学の使命を念頭に置き、それぞれの分野で活動してまいりました。具体的には、栄養クリニック公開講座・市民を対象とする料理教室・テーブルコーディネイト講座・卒業生を対象とする生涯学習・京都女子学園における食育活動（附小ランチ）・大学地域連携事業（健康相談イベント）・大学祭における栄養アセスメント体験と栄養相談・中信ビジネスフェアへの出展による栄養アセスメント及び栄養相談・おやつ作りと遊び活動による子育て支援・本願寺新報への連載（年間32回）・研究活動・他大学栄養クリニックとの連携などを行ってきました。

昨年度からさらに、学生支援料理教室を開催しeラーニングにも活用、東山区地域活性化事業としての健康増進事業の成果が認められ東山区より助成金交付、読売新聞大阪本社との共催にて食withプロジェクトを開催、東北大震災支援プロジェクト、京都市長寿すこやかセンターとの共同事業などに取り組みましたが、今年度これらを継続事業として行っていくことが認められました。

今後ともご期待に沿えるような活動を続けていきたいと考えておりますが、専任の常勤教職員を持たない、小さい組織ですので、学内外より、皆様方のお力添えなくしてはやっていけません。今後とも一層の、ご指導・ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます、ご挨拶とさせていただきます。

平成26年3月1日

京都女子大学栄養クリニック長  
田 中 清